

会報

つちおと

紙に買って
第11弾!

まけるな東北

建設業協会

第123号

平成23年12月

ビルダースボイスとつちおとがひとつの会報紙になりました。

明治・大正・昭和期の
建設工事写真シリーズ

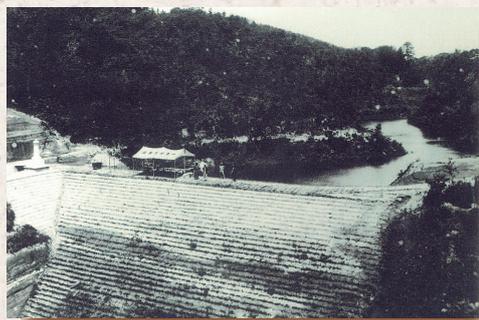
いちみやむらこめぐら

周智郡一宮村米倉 昭和新池工事

(写真提供／(株)ヤマグチ)



↑ 昭和5年5月に着工 工事中の様子



↑ 昭和6年1月完成 農業用ため池として、80年経った今も地域の人々の暮らしに役立っています。

つちおとの表紙を飾る 写真大募集!

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真



住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!

ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

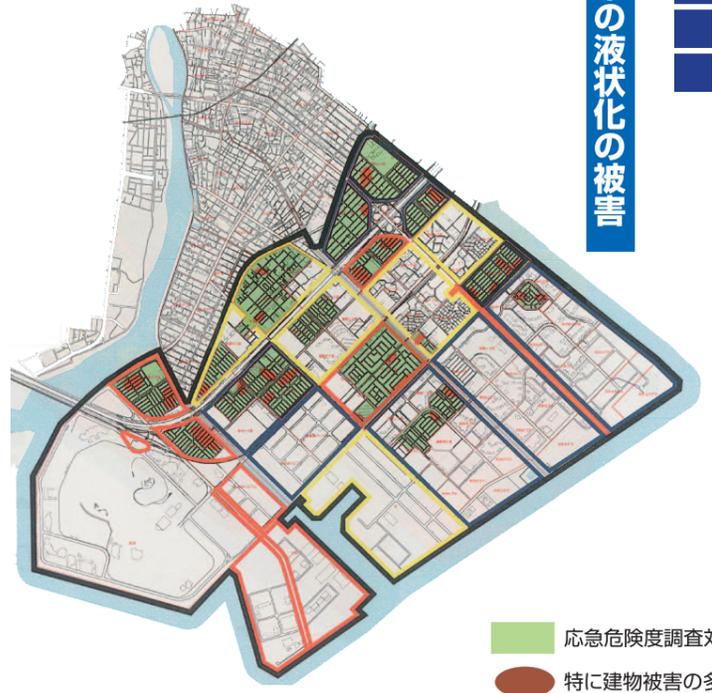


FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION
(社)袋井建設業協会

特集

衝撃!! 浦安市 液状化

浦安市の液状化の被害



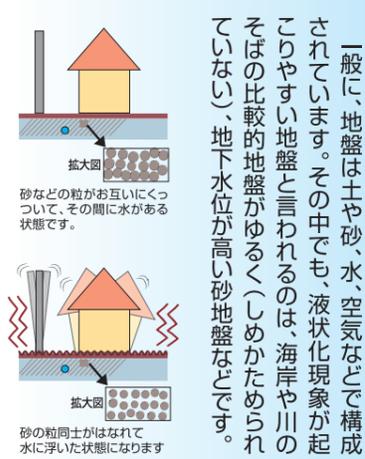
広報委員会(川島達也委員長)では、11月4日に、東日本大震災に伴う、液状化現象で甚大な被害を受けた浦安市の現状を(社)千葉県建設業協会京葉支部の協力を得て視察しました。

浦安市は、東京湾の最奥部の旧江戸川の河口左岸の低平な自然堤防、三角州及び埋立地からなり、特に、地域の4分の3は近年造成された埋立地が占めております。

東京に隣接し、都心までの利便性の良さ、東京ディズニーランドが所在すること、埋立地を中心に計画的に整えられた住環境の良さが注目され、近年ではマンション建設が相次いでいる。

埋立地の地盤はかなり弱く、今回の大震災では液状化現象によって建物やライフラインに深刻な被害が生じました。

液状化現象とは?



主な被害項目	数値
被災者数※1	96,473人
被災世帯数※1	37,023世帯
液状化面積※2	約1,455ha
下水道破損地区面積	約820ha
道路の被害延長	111.8km
応急危険度調査対象	8,878戸

※1 被災者数及び被災世帯数は、平成23年2月28日現在の住民基本台帳と外国人登録台帳を基に算出した。

※2 空中測量で作成した地図からコンピュータ処理により算出した。



被害の状況写真

今も残る被害の爪痕

液状化現象で使用不能となった災害用飲料水兼用型耐震性貯水槽(100L)。

災害時には活躍するはずの貯水槽が「想定外」の液状化現象で全く使えず、案内看板が今もむなしく立っている。



各所で道路が沈下したり隆起しているが、ここでは、歩道の路肩部分が約30cmも下がってしまっている。

目地部分ですれてしまった防潮堤



集積された噴出土砂



市内全域の道路や住宅地に噴出した土砂の量は8万m³を超えたが、この土砂の撤去作業にあたった建設業関係者は、ピーク時には一日、1,000人以上が出動し、作業が深夜まで及び日も多々あった。

本格的復旧と今後の課題等

震災から7ヶ月以上が経過し、これから本格的な復旧工事が始まるが、液状化現象で道路の左右の高さが大きく違ってしまったり、土地の境界がズレるなど、復旧にも様々な課題が残っている。



視察を終えて

今回の視察を終え、液状化の恐ろしさを目の当たりにし、人的被害は無かったものの、東北以外の千葉県でもこんな甚大な被害が生じた今回の地震の大きさを思い知らされ、想定される東海地震でも、沿岸部や河川の流域の埋立地で液状化現象で大きな被害が発生すると想定されていますが、建設業に携わる者として液状化という難題にどう立ち向かっていくのか改めて考えさせられる思いがいたしました。

また、今回の視察の案内をしていただいた、(社)千葉県建設業協会京葉支部の会員業者が、地震発生と同時にパトロールを行い、翌日からは復旧作業に入り、道路に噴出した大量の土砂の除去や下水道の応急復旧にあたり、市民からの感謝の言葉からは建設業のありがたさや必要性を感じ取れ、「もう一度、建設業としてのプライドを持って突き進んでいく」という気持ちにさせてくれた」と述べています。

我々も日頃からいざという時の備えと訓練を行い、不幸にも発災した時には、地域住民のために活動し、大いに建設業の存在を示す必要があると改めて感じ、帰路につきました。

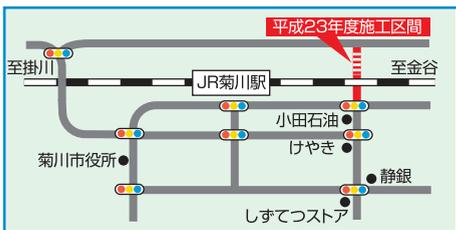
ステーション 建設STATION



新技術TRD工法(PC壁体造成工事)を取り入れた 平成23年度 まちづくり交付金事業 朝日線壁体築造工事(北工区)



現場見学会の様子



工事内容

- 【工事名称】 平成23年度 まちづくり交付金事業 朝日線壁体築造工事(北工区)
- 【工事場所】 菊川市柳地内
- 【発注者】 菊川市
- 【施工会社】 株式会社 小原組
現場代理人 石田隆広
- 【工期】 平成23年7月4日～平成23年11月11日
- 【施工延長】 L=60m

工種	種別	数量
壁体築造工	□500mm	80.1m
場内掘削工		1800m ²
壁体材料費(PC壁体)	□500-12B種	80本
	□500-11B種	79本
仮設工		1式
構造物撤去工		1式

工事の感想

株式会社小原組 現場代理人 石田隆広 さん

本路線は、JR東海道本線菊川駅より東へ約270mに位置し、JR東海道本線により分断されている南北を結ぶ重要路線であります。
近隣する踏切では、朝夕の通勤時間帯には、車両渋滞が発生し交通障害となっております。このため、JR東海道本線との立体交差化をし、安全で快適な交通形態を図ると共に、北側地区の活性化を促進するため、平成17年度より継続し、平成25年度完成を目指し工事が進められています。
今回の工事は、新設道路両側の擁壁にPC壁体を使用し、その築造をTRD工法にて行う工事であります。
PC壁体造成工事（TRD工法）は、近隣市町でも施工事例が少ない新技術登録された工法であり、前年度工事では、発注者及び地区内業者を対象に現場見学会を開催し、今後の業務の参考や知識の向上を図りました。

TRD工法とは？

掘削作業の安全性を高め、継ぎ目のない優れた品質の壁体が造成できる工法です。

- 機械高さが低く施工中はカッターポスト(チェーン)が地中に挿入されているので安定性に優れています。
- 地盤に挿入したチェーンソー型のカッターをベースマシンと接続し、横方向に移動させて、溝の掘削と固化液の注入、原位置土との攪拌混合を行い地中に連続した壁を造成する工法です。

TRD工法の特長

高い安定性

- ・機械高さが低い



等厚壁の横方向への連続性

- ・止水性の高い壁を造成
- ・任意な間隔で芯材の設置が可能
- ・鋼製、またはコンクリートなどのパネル構造物及びシートなどの設置に有効



高い掘削能力

- ・硬質地盤でも施工が可能
玉石混じり地盤における適用事例



深さ方向に均質な壁品質

- ・深さ方向にバラツキが少ない均質な壁を造成

高い施工精度

- ・施工中、鉛直方向・水平方向の精度を傾斜計で管理。(TRD II、III型)

街の おすすめ スポット



NPO法人 ぷらいどサポートセンター

今回ご紹介させていただくのは、
「NPO法人 ぷらいどサポートセン
ター」です。

平成17年7月に設立、ホームヘル
パー等の研修事業を主体に事業を立
ち上げ、現在は、運動機能訓練を行う
介護保険の小規模デイサービスとし
て活動しています。

加圧トレーニングを取り入れ、理
学的療法、作
業訓練、物理
的療法、脳ト
レーニング、マッサージなどを行っ
ています。



一人ひとりの体力や目標に合わせ
てプログラムを作成し、定期的に評
価を行い、プログラムを再考し、最適
なメニューを組み合わせます。

脳梗塞後のリハビリとして、また、
病後の筋力低下で行動範囲が減り家
に閉じこもりがちになってしまった
方が通われています。男女比も6対
4と男性が多く、平均年齢が70歳代

と比較的若いのが特徴です。
また、介護保険利用者だけでな
く、肩こりや筋力低下に悩む30〜
40歳代の女性、介護予防目的の50
〜60歳代が加圧トレーニングに
通っています。
見学はご一報くだされば、いつ
でもOKです。お気軽にお立ち寄
りください。



滑車を使った運動

生きている意義を感じることで 「いこいの広場」を共に実現しよう!

基本サービス

- 送迎サービス
旧掛川市・旧袋井市・森町
- 食事サービス
弁当持参可能
- 機能訓練サービス

介護予防

- 運動機能の向上
- ADLの向上
- 脳機能の向上

ご利用方法

- ・介護保険の要介護認定を受けられた方がご利用できます。
 - ・すでに介護保険サービスをご利用されている方は、担当の介護支援専門員(ケアマネージャー)にご相談ください。
 - ・新規にサービスをご希望の方は、お近くの居宅介護支援事業所にご相談ください。
- 当事業所でもご紹介いたしますので、お気軽にお問い合わせください。



左は棒に紐を結び、右は粘土の中にあるプラスティック棒を探す作業訓練道具です。両方とも手先を使う事で、脳に刺激を与え、運動機能改善を図ります。

NPO法人 ぷらいどサポートセンター

〒436-0112 掛川市細谷880-2
天竜浜名湖鉄道いこいの広場駅近く

TEL 053726-4800

FAX 053726-4801

メール

pride-1771@ai.tnc.ne.jp

ホームページ

<http://www4.tokai.or.jp/pride/>

■ご利用時間■

月曜日～土曜日(祝日を除く)

午前9時30分から 午後3時45分

わが社の自慢

株式会社 藤本組



今回は、株式会社 藤本組
の自慢を紹介いたします。

特徴としては、毎朝、始業
時間前に社員が自主的に集
合して、「挨拶訓練」を実施し、
士気を高
めて当日
の業務に
当たって
います。
この挨拶
訓練は、
8年目に
突入し、
社長がい
つも言っ
ている「
継続する
力」を
実践して
おり、こ
れも「他
社に負け
ない」自
慢の一つ
です。



れています。

毎年、8月第一週土曜日に行っている「環境奉仕の日」では、「少しでも地域に貢献する」というコンセプトの下、近隣地域に要望を伺い、地域の人だけではなかなか行えない作業を行っています。今までに不法投棄箇所のゴミ収集処分や農業用水路の清掃作業を行いました。



会社からの指示だけではなく、社員が「自ら率先して行う事が出来る」が、わが社の一番の自慢です。

会社紹介



株式会社 藤本組

URL <http://www.across.or.jp/fujimotogumi>

〒436-0114 静岡県掛川市高田149-1

TEL.0537-26-1105/FAX.0537-26-1109

協会活動報告

平成23年
7月~10月

理事会報告

- 7/12(火) 平成23年度第2回理事会
県建設業協会常任理事会等の結果報告
- (第2回)第4回理事会共通項目
(第2回)第4回理事会共通項目
(第2回)第4回理事会共通項目
袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会の実施について
- 県下一斉美化運動(カーブミラー清掃)の実施について
- 道路愛護、河川美化運動の実施について
- 緊急雇用対策事業について
- 会員による献血運動の実施について ほか
- 8/8(月) 平成23年度第3回理事会
浜岡原子力発電所における津波対策について
- 福利厚生事業(ホウリング大会)の実施について ほか
- 10/3(月) 平成23年度第4回理事会
公共工事必要箇所調査に基づく危険箇所等の提案について
- 農林土木工事における「耕作放棄地対策」への協力について ほか

委員会等報告

- 正副会長会議
7/12(火)
● 第2回理事会上程議案について
- 8/8(月)
● 第3回理事会上程議案について
- 10/3(月)
● 第4回理事会上程議案について



- 8/24(水) 第9回夏休み親子現場見学会
(森川橋上部土工事現場)
- 9/16(日)~17(月)
県外視察研修(コマツ・東京臨海広域センター)
- 10/18(火) 平成23年度農林土木技術者講習会
- 10/31(月) 第5回代議員会
- 6/29(水) 〓
● その他の行事
社会貢献活動「道路愛護、河川美化運動」の実施
- 7/21(木) 静岡県交通基盤部優良工事等表彰式
- 7/26(火) 袋井土木事務所優良建設工事等表彰式
- 7/27(水) 中遠農林事務所優良建設工事等表彰式
- 10/4(火) 社会貢献活動(会員による献血運動)の実施
- 10/5(水) 中部整備局と県建設業協会との意見交換会
- 10/20(木) 組合福利厚生事業 第2回親睦ボウリング大会開催

総務(労務)委員会

- 9/14(水) 公益法人改革に伴う会費算定について
- 役員視察研修について
- 磐田農業高等学校現場実習生(インターシップ)の受け入れについて ほか

安全委員会

- 7/1(金) 第25回袋井地区建設業安全大会・安全研修会「熱中症予防教育」
- 8/29(月) 第2回技能講習講師団打合せ会
- 9/8(木)~9(金) 現場視察研修(千葉県立高等学校における東日本大震災の被害状況及び首都圏外郭放水路視察)
- 10/6(木)~7(金) 第48回全国労働災害防止大会(広島)
- 10/13(木) 第38回静岡県建設業労働災害防止大会
- 10/27(木) 官民合同工事現場パトロール
- IT対策委員会
7/8(金) 第3回委員会講習会(テーマの検討)
- 8/19(金) 第4回委員会「災害発生時の危機管理講習会」の内容検討
- 9/26(月) 第5回委員会「CAD講習会」の内容検討
- 10/15(土) IT講習会「第1回、第2回CAD応用実践編」
- 10/22(土) IT講習会「第3回CAD応用実践編」



各種研修会・講習会

- 10/21(金) 東海四県ブロック会議・地域懇談会(静岡市)
- 10/28(金)~29(土) 役員視察研修(岩手県・東日本大震災の被害状況)
- 7/6(水) 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育
- 9/7(水) 監理技術者講習

表彰

- 静岡県交通基盤部優良建設工事等表彰
◎ 優良工事表彰 (株)鈴恭組
- ◎ 優良技術者表彰 大石隆夫(株)若杉組
- 袋井土木事務所優良建設工事等表彰
◎ 優良工事表彰 (株)三井組
- ◎ 優良技術者表彰 中村進(正光建設(株))
- ◎ 安全工事表彰 山崎正(岡野建設(株))
- ◎ 地域貢献表彰 小田武弘(丸明建設(株))
- ◎ 安全工事表彰 乗松建設(株)
- ◎ 安全工事表彰 (株)大浜中村組
- 中遠農林事務所優良建設工事等表彰
◎ 優良工事表彰 金原建設(株)
- ◎ 優良技術者表彰 岡野建設(株) 平野建設(株)
- ◎ 地域貢献表彰 (株)三井組
- 建設業労働災害防止協会本部長表彰
◎ 功労賞 牧野泰明(株)牧野工務所
- 建設業労働災害防止協会支部長表彰
◎ 功労賞 (株)若杉組 松村建設(株)
- ◎ 功労賞 鈴木一郎(株)新組
- ◎ 功績賞 中山勝義(中山建設(株))
- ◎ 功績賞 渥美祐次(株)堀内土木
- ◎ 功績賞 村田圭吾(村田建設(株))
- ◎ 功績賞 (株)藤本組
- 独立行政法人 勤労者退職金共済機構連退
共静岡県支部長表彰 (株)藤本組

広報委員会

- 7/19(火) 会報第122号校正
- 8/1(月) 会報第122号発行
- 8/19(金) 会報第123号の編集計画
- 9/28(水) 会報第123号の編集会議
- 10/25(火) 会報第123号の編集
- 11/4(金)~5(土) 視察研修(千葉県浦安市の液状化被害の実態)

土木・建築委員会

- 静岡県袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会の開催
- 7/26(火) テーマの設定方法
- 9/5(月) テーマの検討
- 10/5(水) テーマの確定及び意見交換会の進め方
- 10/20(木) 意見交換会の開催



環境・災害対策委員会

- 7/20(水) 社会貢献活動「県下一斉美化運動(カーブミラー清掃)」の実施方法及び実施計画の策定
- 8/25(木) 県下一斉美化運動の実施計画
- 県下一斉美化運動実施要領の制定
- 袋井土木事務所、中遠農林事務所、中部整備局(浜松河川国道事務所等)との災害協定に基づく報告
- 9/1(木) 県下一斉の災害時情報伝達訓練

- 9/26(月)~28(水) 県下一斉美化運動の実施
- カーブミラー清掃(1,310基)



環境・災害対策委員会 NPO部会

- 公共工事必要箇所調査の実施
- 8/5(金) 袋井土木事務所への提案箇所の選定方針と進め方
- 8/25(木) 現地調査の実施協議
- 9/29(木) 提案箇所の確定
- 10/20(木) 袋井土木事務所への提案



- 10/25(火) 市町への提案箇所の選定方針と進め方

技士会袋井支部

- 7/26(火) 第4回代議員会
- 第27回技術発表会(平成23年度技術者講習会)



役員視察研修

死者・行方不明者が2万人を超すという未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から、7ヶ月余が経過した10月28日、29日の両日、岩手県内の普代村、宮古市田老地区及び宮古地区への役員視察研修を実施しました。

この大災害は、静岡県民にとって尊い犠牲のうへの警鐘であり、津波対策は決して避けては通れない喫緊に取り組むべき大きな課題であることとを訴えています。

そこで、防潮堤等が設置されていたものの、被害の実態が対照的であった2地区をここに紹介します。

死傷者ゼロ! 奇跡の村「普代村」

ここは、総工費35億円余を投じて昭和59年に完成した普代水門(高さ155メートル、総延長205メートル)と、総工費5千8百万円余をかけて昭和42年に完成した太田名部防潮堤(高さ155メートル、総延長155メートル)が有効に機能し、巨大津波から村民の命と財産を守ることができました。



破壊された「万里の長城」

巨大津波は、地元で「万里の長城」と呼ばれている宮古市田老地区の高さ10メートル(海抜)、総延長2千433メートルに及び巨大な防潮堤を乗り越え、大破させ、街並みを一瞬のうちに飲み込んでしまいました。

現地に立つと、あまりの光景に言葉を失いました。一瞬広い平地だけが目に映り、そして、平地の中、数え切れないほどの家の基礎の残骸。そのつひつひが、そこには笑顔や笑い声が溢れていたであろう温かな家庭があったことを、そして平凡な日常の生活が営まれていた我が家があったことを、物語っていました。



基礎だけが残るかつての街並み



破壊された万里の長城

最後に、人命救助と救援のためのルートを確認するに当たって、地元建設業者が果たした役割は、大変重要であったということを示添えておきます。

安全の道しるべ



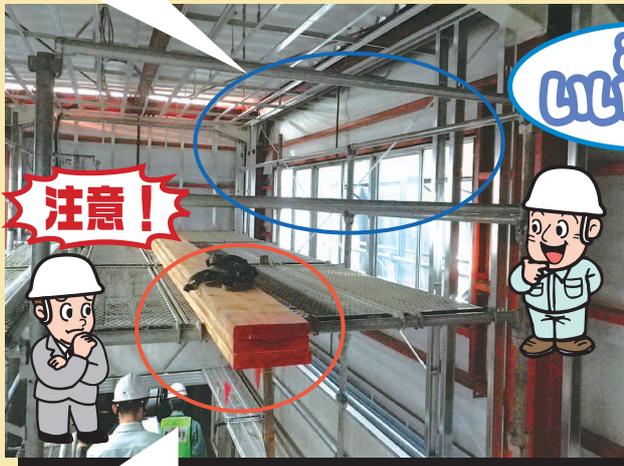
官民合同パトロール

実施日 平成23年10月27日(木)
 参加者 19名(安全委員13名/監督署2名
 静岡県営繕課2名/袋井土木2名)
 実施箇所 3箇所 小笠地区(建築)1箇所
 袋井地区(土木)2箇所

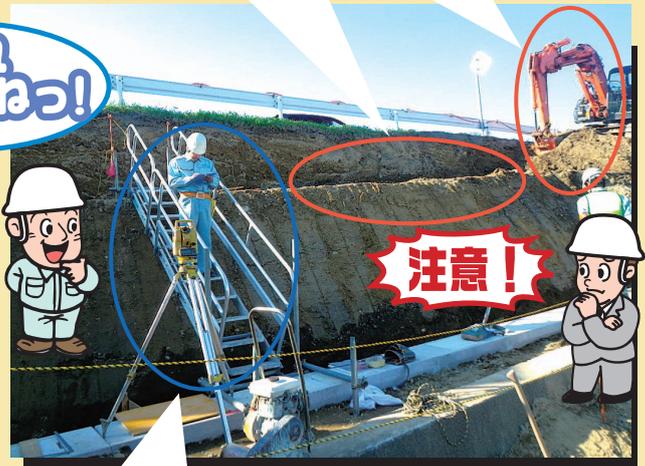


○ 枠組足場端部の転落防止の手摺が確実に設置されていた

▲ 重機回転時、作業範囲内立ち入り禁止!
 ▲ 法肩の表示・転落防止措置をした方が良い。



▲ 枠組足場の下は階段で作業通路となっているため、道板が足場から飛び出ていると頭をぶつける危険!



○ 安全でスムーズに昇降出来る仮設の昇降階段

磐田労働基準監督署 高田次長のコメント

年末年始にかけては災害の増加が懸念されます。企業は「経験未熟な若い人に対する安全教育の充実」や、「自主パトロールを増やす」などとして、災害防止対策の徹底をお願いします。

建設業年末年始労働災害防止協調期間
 平成23年12月1日～平成24年1月15日

『無事故の歳末 明るい正月!』

ブレイクタイム

「防・災・用・の・耐・震・性・貯・水・槽・が
 この有り様なんですよ……。」
 私達の目の前には、地中から
 飛び出したマンホールの本体
 が、見るも無残に横たわって
 いた……。

この浦安市の様子は、一部
 メディアにより報道されたが、
 どうしても東北の映像が優先
 され、あまり伝えられなかつ
 たように思う。

私達国民は、今回の大震災
 で色々な事を学ばされた。津波、
 原発、そしてこの地盤液状化。
 過去に災害が発生する度、そ
 の犠牲の上に新たな基準が設
 けられてきた。しかし、それは
 いつも不完全なもので、今も
 つて甚大な被害者がでている。
 もう、止めよう。

世界一といわれる日本の土
 木技術を結集して次に想定さ
 れる災害を予測し、二度と震
 災による死者を出して欲しく
 ない。予算の問題もあるから……、
 十分承知だ。しかし、少なくとも
 『将来に繋がる方針』を明確
 に出してもらいたい。
 今回、浦安市を訪れて、切に
 そう思った。(K・T)

